



稲村 雅司 議員

真栄田岬施設利用状況と 注意看板について

質 管理者の責任の範囲、利用者への注意喚起対策、今後の管理体制を伺う。

答 商工観光課長（親泊誠）

施設内の管理責任で海域について管理責任は及ばないと認識している。比較的危険な海域であること、小学生以下は、ビーチでの海水浴を勧める看板設置を予定。具体的な施策は確立されていないが関係機関と協議を重ね具体的な施策を確立できるよう取り組んでいきたい。

質 スキンダイビングを行う方への注意喚起看板の進展を伺う。

答 建設課長（屋良朝也）

村漁協、村マリインレジャー協会と意見交換をし、作業を進め真栄田岬、瀬良垣護岸、瀬良垣の国道休憩所付近に7月中の設置を考えている。

地域公共交通の活性化について

質 地域公共交通の活性化、これからの予定。地元の方、特に高齢者の方は利用しづらいと思うが見解を伺う。

答 商工観光課長（親泊誠）

令和4年度に実証実験を観光客向けの各ホテルの送迎バス、地域住民向け巡回バス設置に必要な課題精査、観光客と地域住民の利便性の向上を目指し行った。令和5年度も、形態を変えながら、実証実験を行う準備をしている。課題を把握するための実証実験でもあり、検証結果を踏まえ今後の検討課題と考える。

高齢者外出支援サービスについて

質 拡充できないか伺う。

答 福祉課長（石川司）

目的、対象者の大幅な拡大・変更を行うことは困難であると考ええる。しかし、不自由されている方々がいることは認識しており、別に新たな移動支援サービスの実施に向けて検討が必要であると考える。

学力向上検定受験料助成事業について

質 課題や改善。高校生が対象外なのはなぜか伺う。

答 学校教育課長（仲村泰弘）

学力向上推進委員会と連携、学校現場と協力を図り過去問題等の配布、受験者数増加を図るため、学校に依頼し周知に向けて取り組んでいる。今年度は、保護者への周知も各家庭と連携していきたいと考えている。県の助成金を村学力向上推進委員会の歳入として組み入れ補助している。助成対象者が小中学生となっているため、高校生は該当していない。助成が必要か関係団体と検討していきたいと考えている。

山田幼稚園の休園について

質 休園となった理由、保護者への周知、山田幼稚園再開について伺う。

答 学校教育課長（仲村泰弘）

職員の募集を行ったが必要な人員に満たなかったことが休園の理由であります。休園が3月21日開催の定例教育委員会承認された後、同日電話で山田幼稚園入園申し込みの保護者に事情を説明し3月28日に教育長、学校教育課、福祉課も同席し保護者説明会を

行いました。次年度の園児募集の始まる10月までには、4園を開園できるか判断したいと考えている。

質 認定こども園の恩納村の方針を伺う。

答 福祉課長（石川司）

令和6年度に公立保育所1か所を民間へ移管し、その後令和8年度を計画目標として「認定こども園」の移行を基本に事務的作業を進めている。

質 村長の方針を伺う。

答 村長（長浜善巳）

認定こども園の整備は、国の子ども・子育て支援法や第6次恩納村総合計画、恩納村教育大綱、第2期中縄県及び恩納村子ども・子育て支援事業計画等の計画に基づいて、「恩納村保育所・幼稚園の在り方に関する基本方針」を、先日恩納村教育総合会議で策定したところです。今後強化したいと考えています。



▲整備された「コージガマ」の入り口

小学校の環境整備について

質 中学校の統合に伴い職員の減や、運動場の活用も少なくなり草刈りや、安全管理が大変な状況であります。何らかの対策がとれないか伺う。

答 学校教育課長（仲村泰弘）

昨年度は山田小学校、恩納小学校については、運動会前に重機を入れて整備しました。今年度は夏休みを利用し、4小学校に重機を入れ整備する予定です。山田小学校に関してはグラウンドの状態が特に悪いのでフィールド部分も含め整備する予定です。

戦争遺跡の壕やガマの整備について

質 宇加地区にあるコージガマについての質問です。現在、平和学習での活用や時々訪ねてくる方もいるそうです。以前はロープしかなかった場所に安全確保のため、地元のナীগスクの会というグループで枕木を利用して階段と鉄パイプで手すりを設置し、現在のような活用ができています。時間の経過とともに改修の必要な状態になっています。村で整備ができないのか見解を伺う。

答 総務課長（宮平寛）

財源的なところで村の単独予算で整備したこともあります。場所も確認し、必要性も含めて検討します。

質 学校教育課長（仲村泰弘）

以前からこの場所については、危険箇所として入り口を拡張してほしいとの要望が出ています。令和4年度に現地調査も行っています。関係機関や宇加地区との調整、予算の確保を行いながら、入り口拡張に向けて進めていければと考えています。

提 大回りして左折の際に、前方がカーブになっていて、時々スピードが出ている車もあるそうで、危険であると同っています。子供たちを乗せた

うんな中学校スクールバスの安全確保とバス停の屋根の必要性について

質 入り口が狭くて大分大回りして左折している状況で、バス会社や地域とも話し合いが行われていることだと思いますが、現在の進捗状況を伺う。

答 学校教育課長（仲村泰弘）

以前からこの場所については、危険箇所として入り口を拡張してほしいとの要望が出ています。令和4年度に現地調査も行っています。関係機関や宇加地区との調整、予算の確保を行いながら、入り口拡張に向けて進めていければと考えています。



比嘉 秀康 議員

大回りして左折の際に、前方がカーブになっていて、時々スピードが出ている車もあるそうで、危険であると同っています。子供たちを乗せた

状態でもありませんし、安全確保のため早急な改善を望みます。

質 スクールバスの待合場所のバス停、上屋についての質問です。私の身近な地区、3か所からの要望がありました。1つ目は仲泊の学校前です。バス停の設置も含め検討をお願いします。2つ目は、与久田のバス停です。上り下りともありませんので設置の検討をお願いします。3つ目は、美留のバス停です。令和2年12月の一般質問の答弁では費用対効果や歩道の幅、幅員が足りないというので設置は難しいとの回答でした。現地を視察したところ少し離れた歩道に花壇のような土の部分があり、中部土木事務所のほうへ確認すると、その部分も含めると幅員はとれるだろうという回答をいただいています。路線バス以外にも空港バスの待合場所にもなっていて、観光立村の観点からも必要だと思のですが、3か所の上屋の設置について伺う。

答 学校教育課長（仲村泰弘）

屋根のない待合所のうち仲泊小学校前、希望ヶ丘内の2か所につきましては、指定されている場所が村の管理地となっているので、村道を管理する建設課と協議を進め、設置できるかを検討していきます。